



タイ経済最新情報

2024 年 4 月号

2 月のタイ景気は前月から緩やかな回復傾向

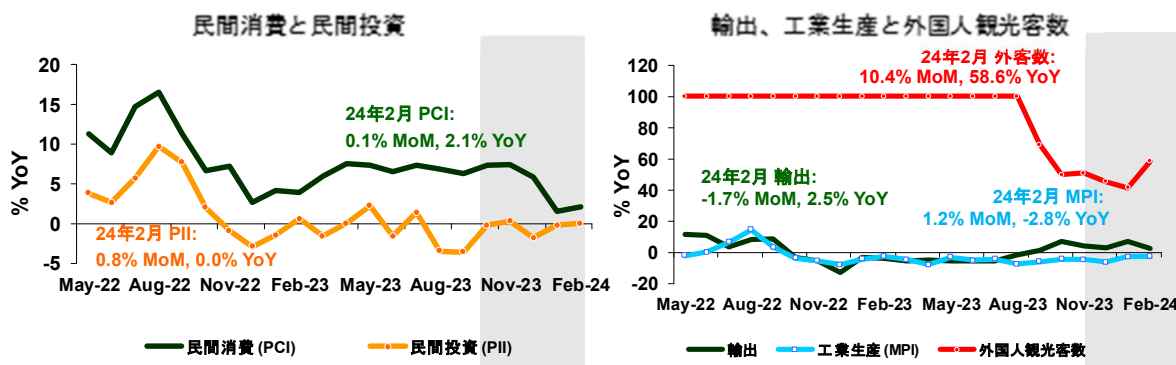
要点

- 2024 年 2 月のタイ経済は緩やかに改善しています。春節と観光ビザ免除の影響で中国人観光客が増え、観光を中心にサービス業が大幅に改善しました。
- 2024 年 3 月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比 0.47% 減少し、6 カ月連続でマイナスとなりました。供給拡大による生鮮食品の価格下落が影響しました。政府のエネルギー価格の引き下げ政策も全体を押し下げました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比 0.37% 増で、前月からほぼ横ばいでした。
- EU はゴムやパーム油などの 7 品目と関連の加工品を対象に、「森林破壊防止のためのデューデリジェンス義務化に関する規則 (EUDR)」を施行しました。これらの品目が生産される過程で一定以上の森林破壊が認められた場合は、EU への輸入を禁止します。
- タイのゴム生産の現状について、2018~20 年にゴム生産にともなうタイで破壊された森林は、インドネシアやマレーシアなどゴムの生産国より優位性をもっています。カシコンリサーチセンターは、2024 年のタイの EU 向けゴム輸出は前年比 7% 拡大して 4 億 4,800 万米ドルに達すると予測します。

タイ経済の動向

□ 2024 年 2 月のタイ経済情報

タイ中央銀行が発表した2024年2月の重要な経済指標によると、タイ経済は前月から緩やかに拡大しました。春節と観光ビザ免除の影響で中国人観光客が増え、観光を中心にサービス業が大幅に改善しました。



出所: BoT, Ministry of Industry, Ministry of Tourism and Sports

備考: YoY = 前年比; MoM = 前月比

2 月の民間消費は前年同月比2.1%増となり、前月に引き続き拡大しています。政府による物価安定政策が一定の効果を発揮しています。しかし、自動車など耐久財は不振でした。

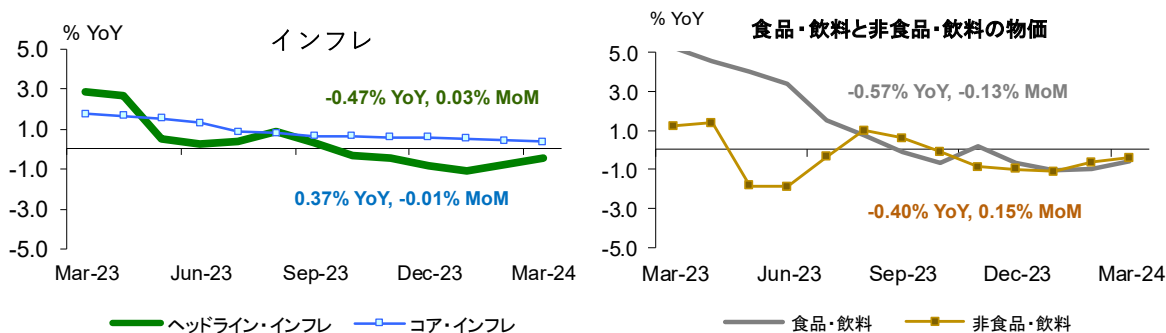
一方で、民間投資は、前年同月比0.0%になりました。商用車の販売が弱含み、建設投資も不振でした。しかし、コンピューターや機械設備を中心に資本財の輸入額が増えました。

บริการทุกระดับประทับใจ

2月の輸出は、前年同月比2.5%増の230億米ドルとなりました。しかし、金を除く輸出額は、前月に比べ2.9%減でした。外需の低迷や在庫の積み上がりを背景に低調でした。

工業生産に関しては、前年同月比2.8%縮小したが、前月に比べ1.2%拡大しました。製油所のメンテナンスが終わり再稼働した影響で石油製品の生産が増えたほか、中国向け輸出が好調なゴム・プラスチックを中心に化学品生産も伸びました。

一方で、外国人観光客の伸びが前月比58.6%増でした。春節と中国人に対する観光ビザ免除の効果が表れ、前月より増えました。また、マレーシア、日本、インドなどの観光客が増加しました。



商務省が発表した2024年3月のヘッドライン・インフレ率は、前年同月比0.47%減少し、6カ月連続でマイナスとなりました。供給拡大による生鮮食品の価格下落が影響しました。政府のエネルギー価格の引き下げ政策も全体を押し下げました。一方で、振れ幅の大きい生鮮食品とエネルギーを除くコア・インフレ率は、前年同月比0.37%増で、前月からほぼ横ばいでした。

食品・飲料部門は0.57%減少しました。このうち、肉・魚が5.27%、果物・野菜が2.26%の下落でした。一方、卵・乳製品は3.81%、米・粉製品は3.85%、非アルコールは2.13%、それぞれ上昇しました。一方で、非食品・飲料部門は0.40%減少しました。

2024年のタイのEU向けゴム輸出は7%増加する見通し

EUは2023年6月、ゴムやパーム油、牛肉、木材、コーヒー、カカオ、大豆の7品目と関連の加工品を対象に、「森林破壊防止のためのデューデリジェンス義務化に関する規則 (EUDR)」を施行しました。これらの品目が生産される過程で一定以上の森林破壊が認められた場合は、EUへの輸入を禁止すると発表しました。EUDRは、2024年末から大企業に対して義務化されるほか、2025年6月末には中小企業にも適用されます。

一方で、タイのゴム生産の現状について、2018~20年にゴム生産にともなうタイで破壊された森林は40万ライにとどまり、インドネシアの600万ライやマレーシアの190万ライと比較して小規模にとどまっているとなりました。

温室効果ガスの排出についても、タイ温室効果ガス管理機構 (TGO) がカーボンクレジットの発行を検討しており、さらに環境面での競争力が増す可能性があります。これらの優位性を踏まえ、カシコンリサーチセンターは、2024年のタイのEU向けゴム輸出は前年比7%拡大して4億4,800万米ドルに達すると予測します。

監修: カシコンリサーチセンター

本資料は情報提供を唯一の目的としており、ビジネスの判断材料とするものではありません。掲載されている分析・予測等は、資料制作時点のものであり、今後予告なしに変更されることがあります。また、予測の妥当性や正確性が保証されるものでもありませんし、商業ないし何らかの行動の為に採用することから発生した損害の責任を取れるものでもありません。本資料の予測・分析の妥当性等は、独自でご判断ください。

บริการทุกระดับประทับใจ